

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月18日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 スーパーツール
 コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 篠畑 雅光

TEL 072-236-5521

四半期報告書提出予定日 平成23年1月28日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年3月16日～平成22年12月15日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	2,887	20.1	283	152.8	223	112.9	139	148.7
22年3月期第3四半期	2,405	—	112	—	105	—	56	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	17.30	—
22年3月期第3四半期	6.91	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年3月期第3四半期	8,403	636.16	5,026	59.8	636.16	
22年3月期	8,950	617.70	5,016	56.0	617.70	

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 5,026百万円 22年3月期 5,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
23年3月期	—	6.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年3月16日～平成23年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	23.5	450	180.1	350	154.6	200	172.0	24.63

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	8,245,480株	22年3月期	8,245,480株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	344,820株	22年3月期	124,240株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	8,071,700株	22年3月期3Q	8,121,510株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、新興国市場の需要拡大や国内の各種経済対策等を背景に、景気は緩やかな回復基調にあるものの、長引く円高やデフレの進行、欧州の財政不安などにより、景気の先行きについては不透明な状況のまま推移しました。当業界におきましても、消費者の節約・低価格志向や価格競争などにより厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社は、ユーザーニーズに合った新製品開発と既存製品のリニューアル、コスト低減等により、ブランド力強化を図ってまいりました。また、販売面では、取引先・ユーザーへの積極的な提案と新製品説明会等によりスーパー印製品の浸透と新規市場の開拓を行なってまいりました。

その結果、売上高は2,887百万円（前年同期比20.1%増）となりました。部門別では、作業工具部門1,898百万円（前年同期比22.0%増）、産業機器部門982百万円（前年同期比17.5%増）、不動産賃貸部門7百万円（前年同期比45.5%減）となりました。

損益面につきましては、売上・生産の回復による操業度の向上に加え、コスト構造の抜本の見直し等を図ってまいりました結果、営業利益は283百万円（前年同期比152.8%増）、経常利益は223百万円（前年同期比112.9%増）、四半期純利益は139百万円（前年同期比148.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末に比べ546百万円（6.1%）減少し8,403百万円となりました。主な増減は、現預金の減少430百万円、有価証券の減少200百万円、製品の増加65百万円、関係会社出資金の増加51百万円等であります。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ556百万円（14.1%）減少し3,377百万円となりました。主な増減は、短期借入金の減少430百万円、1年内償還予定の社債の減少100百万円、長期借入金の減少64百万円等であります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ9百万円（0.2%）増加し5,026百万円となりました。主な増減は、第3四半期純利益の計上139百万円及びその他有価証券評価差額金の増加15百万円並びに自己株式の取得48百万円、配当金の支払97百万円等であります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末56.0%から59.8%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ330百万円減少し、782百万円となりました。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動においては、税引前四半期純利益223百万円、減価償却費101百万円等により資金の増加がありました。また、棚卸資産の増加37百万円、売上債権の増加35百万円、法人税等の支払額77百万円等により、181百万円資金が増加（前年同期は279百万円の増加）しました。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動においては、定期預金の払戻し100百万円、有価証券の償還200百万円等により資金の増加がありました。また、関係会社出資金の払込み51百万円、有形固定資産の取得30百万円等の支出により、183百万円資金が増加（前年同期は40百万円の減少）しました。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動においては、長期借入金の調達250百万円等により資金の増加がありました。また、短期借入金430百万円の純減、長期借入金の返済269百万円、社債の償還100百万円、自己株式の取得48百万円及び配当金の支払97百万円の支出等により、695百万円資金が減少（前年同期は418百万円の減少）しました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年4月22日付「平成22年3月期決算短信（非連結）」にて発表いたしました内容から変更はありません。

（注）本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月15日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	782,766	1,213,536
受取手形及び売掛金	495,096	459,906
有価証券	-	200,000
製品	912,283	846,796
仕掛品	515,680	549,549
原材料及び貯蔵品	224,683	218,791
繰延税金資産	24,373	34,054
その他	7,139	9,831
流動資産合計	2,962,023	3,532,465
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	331,100	348,973
機械及び装置(純額)	244,072	292,440
土地	4,171,371	4,171,371
その他(純額)	105,138	107,392
有形固定資産合計	4,851,682	4,920,178
無形固定資産		
投資その他の資産	11,720	5,937
投資有価証券	417,882	388,341
関係会社出資金	51,951	-
繰延税金資産	62,158	57,141
その他	47,067	47,400
貸倒引当金	906	1,359
投資その他の資産合計	578,153	491,524
固定資産合計	5,441,556	5,417,640
資産合計	8,403,580	8,950,105
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	299,587	257,041
短期借入金	200,000	630,000
1年内返済予定の長期借入金	377,340	332,564
1年内償還予定の社債	-	100,000
未払金	158,951	148,313
未払法人税等	43,766	50,761
未払費用	4,300	7,245
賞与引当金	7,900	33,400
その他	11,412	181
流動負債合計	1,103,258	1,559,508

（単位：千円）

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月15日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月15日)
固定負債		
長期借入金	753,717	817,916
長期末払金	70,359	96,510
再評価に係る繰延税金負債	1,359,280	1,359,280
退職給付引当金	86,159	95,685
その他	4,740	4,740
固定負債合計	2,274,255	2,374,131
負債合計	3,377,513	3,933,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,463,274	1,463,274
資本剰余金	342,076	342,076
利益剰余金	1,677,300	1,635,099
自己株式	79,158	30,634
株主資本合計	3,403,492	3,409,815
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,931	49,855
土地再評価差額金	1,656,505	1,656,505
評価・換算差額等合計	1,622,574	1,606,650
純資産合計	5,026,066	5,016,465
負債純資産合計	8,403,580	8,950,105

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月16日 至平成21年12月15日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月16日 至平成22年12月15日)
売上高	2,405,083	2,887,555
売上原価	1,669,525	1,928,181
売上総利益	735,557	959,373
販売費及び一般管理費	623,347	675,751
営業利益	112,210	283,622
営業外収益		
受取利息	8,378	4,182
受取配当金	3,967	2,830
還付加算金	4,386	-
助成金収入	22,553	-
違約金収入	18,200	-
その他	3,244	4,960
営業外収益合計	60,729	11,974
営業外費用		
支払利息	20,912	18,714
社債利息	849	-
売上割引	39,561	46,962
その他	6,607	6,366
営業外費用合計	67,930	72,043
経常利益	105,008	223,553
特別利益		
貸倒引当金戻入額	453	453
固定資産売却益	-	2
特別利益合計	453	455
特別損失		
固定資産除売却損	-	145
特別損失合計	-	145
税引前四半期純利益	105,461	223,863
法人税、住民税及び事業税	38,106	69,803
法人税等調整額	11,206	14,410
法人税等合計	49,313	84,213
四半期純利益	56,148	139,650

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月16日 至平成21年12月15日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月16日 至平成22年12月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	105,461	223,863
減価償却費	120,711	101,489
貸倒引当金の増減額（は減少）	453	453
賞与引当金の増減額（は減少）	29,000	25,500
退職給付引当金の増減額（は減少）	1,778	9,525
長期未払金の増減額（は減少）	31,481	26,151
受取利息及び受取配当金	5,662	7,013
支払利息	20,912	18,714
社債利息	849	-
有形固定資産除売却損益（は益）	-	143
補助金収入	22,553	-
違約金収入	18,200	-
売上債権の増減額（は増加）	49,589	35,190
たな卸資産の増減額（は増加）	287,170	37,510
仕入債務の増減額（は減少）	80,890	42,545
その他	19,166	23,316
小計	375,511	268,727
利息及び配当金の受取額	11,175	9,930
利息の支払額	21,691	18,714
補助金の受取額	22,553	-
特別退職金の支払額	232,972	-
法人税等の還付額	136,440	-
法人税等の支払額	11,795	77,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	279,219	181,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	22,254	30,067
有形固定資産の売却による収入	-	11
投資有価証券の取得による支出	2,130	28,991
投資有価証券の償還による収入	-	200,000
無形固定資産の取得による支出	-	6,582
関係会社出資金の払込による支出	-	51,951
投融資の回収による収入	5,080	3,640
預り保証金の返還による支出	21,500	-
従業員に対する長期貸付けによる支出	-	2,440
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	-	360
投資活動によるキャッシュ・フロー	40,805	183,978

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月16日 至平成21年12月15日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月16日 至平成22年12月15日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	370,000	430,000
長期借入れによる収入	300,000	250,000
長期借入金の返済による支出	264,510	269,423
社債の償還による支出	-	100,000
自己株式の取得による支出	3,112	48,523
自己株式の処分による収入	48	-
配当金の支払額	81,278	97,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	418,852	695,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	1,352
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	180,437	330,770
現金及び現金同等物の期首残高	1,153,366	1,113,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	972,929	782,766

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。